

所定疾患施設療養費の公表

【令和6年度】

疾患名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
尿路感染症	人数	1	1	2	4	1	3	0	1	2	0	2	0	17
	日数	3	7	13	26	5	17	0	6	8	0	14	0	99
肺炎	人数	9	4	3	6	3	3	4	4	5	1	5	5	52
	日数	63	21	18	34	13	13	20	19	28	4	28	19	280
带状疱疹	人数	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	日数	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7	12
蜂窩織炎	人数	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	4
	日数	0	5	0	0	7	0	0	0	0	0	0	14	26
慢性心不全の増悪	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	人数	10	7	6	10	5	6	4	5	7	1	7	8	76
	日数	66	35	34	60	25	30	20	25	36	4	42	40	417

疾患別の主な治療内容(投薬、検査、注射、処置等の内容)

尿路感染症	寝たきりになると尿路感染症を起こしやすくなるため、可及的にリハビリ等でADLの改善を図り、日常生活では、起床状態を長く保てるように務める。起炎菌の同定後に抗生剤を適切に使用する。
肺炎	起因菌の同定(喀痰培養)にて、感受性のある抗生剤を投与。特に誤嚥性肺炎の場合、口腔ケア等により、嚥下筋と脳神経の刺激を介して、その予防に務める。
带状疱疹	抗ウイルス剤の点滴、注射、消炎鎮痛剤を用いた適切な治療を行う。
蜂窩織炎	皮膚の真皮層からその深部にブドウ球菌又は、溶連菌等の主に球菌による炎症が広がるため、セフェム系(セファブリン)等の抗生剤で治療をする。足趾の創部には、抗生剤の軟膏も塗布する。
慢性心不全の増悪	注射または酸素投与等の処置を実施する。